

2024年7月12日
株式会社大同キャスティングス
代表取締役社長 関公彦

タービンハウジング事業の今後につきまして

(株)大同キャスティングスは、タービンハウジング事業について、量産品ならびに補用品の生産を2025年3月末で終了することと致しました。

弊社タービンハウジング事業につきましては、世界的なターボ需要拡大に伴い、'17年度には最大600t/月の生産をしておりましたが、海外競合先の台頭などにより新規受注の獲得が困難な状況となり、'20年6月にハウジング第2工場の鑄造設備を撤去し、生産能力縮小を行いました。

更に'24年10月頃に主力品の量産終了が見込まれ、以降は3t/月未満の生産規模となる見込みです。

弊社といたしましても、事業を継続すべく製品構成の見直しなど様々な可能性を検討して参りましたが、上記生産規模では当該事業を維持、継続しつつ会社を存続することは困難であるという見通しに至りました。

つきましては、今年度末の'25年3月までに量産品及び補用品をまとめて鑄造し、生産終了とさせていただきます。

具体的な製品毎の終了方法についてはお客様のご意見を伺いながら協議させて頂きたく存じます。

本件についてご理解賜ることをよろしくお願い申し上げます。

以上